## ふぶく日のシルエット。

「雪があっても、いつでも描けるわけではない。

私の場合、雪の降る日か、ふぶく日、夕方などの寂しい風景に触発を受けた」と、斎藤清。

会津の冬は、郷愁をモチーフにした作品では決してなく。

また、こうも言っていました。

「冬は一番、絵になりやすい。雪が要らないところを消して、私が描きたいものだけを残してくれる」。

斎藤清が最もこだわっていたのは、「構図」でした。

会津の冬は、自らが理想とする構図と、ふぶいた日の雪のシルエットとの、いわば共同作業だったのかもしれません。

時にはせめぎ合いながらも、画家として共通のスタンスをふぶく雪の中に見出したのは確かでしょう。

会津の冬の新しい魅力をお楽しみください。



Winter in Aizu (57) Inawashiro

 $\frac{2018}{2018}$  12 /  $\frac{1}{1}$  saturday ~  $\frac{2019}{2019}$  2 /  $\frac{24}{24}$  sunday ~  $\frac{2019}{2019}$  3 sunday

[開館時間] 午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで)

[休館日]毎週月曜日(ただし月曜日が祝祭日の場合はその翌日)

[観覧料] 一般 510 円(410 円)高・大学生 300 円(200 円)中学生以下無料(カッコ内は 15 名以上の団体料金)

[アクセス] 車:東北道 → 磐越道 → 会準坂下 I.C → R252 を只見町方面へ5 km (道の駅 会準標準内) 電車 (JR):東京 (東北新幹線)→ 郡山 (磐越西線)→ 会津若松 (只見線)→会津標津



## ふぶく日のシルエット。

「雪があっても、いつでも描けるわけではない。

私の場合、雪の降る日か、ふぶく日、夕方などの寂しい風景に触発を受けた」と、斎藤清。

会津の冬は、郷愁をモチーフにした作品では決してなく。

また、こうも言っていました。

「冬は一番、絵になりやすい。雪が要らないところを消して、私が描きたいものだけを残してくれる」。

斎藤清が最もこだわっていたのは、「構図」でした。

会津の冬は、自らが理想とする構図と、ふぶいた日の雪のシルエットとの、いわば共同作業だったのかもしれません。 時にはせめぎ合いながらも、画家として共通のスタンスをふぶく雪の中に見出したのは確かでしょう。

会津の冬の新しい魅力をお楽しみください。



WINTER IN AIZU (57) INAWASHIRO

2018 12 / L saturday ~ 2019 2 / 24 sunday

~白からはじまる。



## 「会津の冬」を見るなら、冬の会津へ。

「会津の冬」、生涯にわたって描き続けた斎藤清のライフワークです。

「会津の冬」に対して、温かい、やさしい、懐かしいなど、これまでこう讃えられてきました。

でも、「会津の冬」は、だれにでも郷愁を誘う作品なのでしょうか。

例えば、会津の豪雪を知らない若い人たち、都会の人たちには、雪の描写がもこもこ、ふわふわと、可愛く見えるようで… そう言えば、斎藤清も言っていました。「絵は構図なんだ。雪が余計なものをみな消してしまうのが魅力」と。 もこもこ、ふわふわ、ふんわりと、単純化された造形の面白さ、シルエットの美しさに目を奪われたっていいはずです。 作品から受ける印象は、本来千差万別なんですから。

いくつかの仕掛けが施された本展示空間の中で、心を空っぽにして、

もう一度、「会津の冬」と向き合ってはいかがでしょう。

いままでとは違う感動を覚えた時、それはこの作品の新しい魅力に気づいた時かもしれません。



会津の冬 (82) 柳津 1989年 木版



会津の冬 (75) 喜多方 1988年 木版



会津の冬 (23) 柳津 1976年 木版



会津の冬 (50) 柳津 1981年 木版



[開館時間] 午前9時~午後5時 (入館は午後4時30分まで)

[休館日] 毎週月曜日(ただし月曜日が祝祭日の場合はその翌日)

[観覧料] 中学生以下無料 (カッコ内は15名以上の団体料金)

電車 (JR):東京 (東北新幹線)→

∓969-7201

TEL 0241-42-3630

車:東北道 → 磐越道 → 会津坂下 I.C →

福島県河沼郡柳津町大字柳津字下平乙 187

e-mail bijutsu@town.yanaizu.fukushima.jp

一般 510 円 (410 円) 高•大学生 300 円 (200 円)

R252 を只見町方面へ5km (道の駅 会津柳津内)

郡山 (磐越西線)→ 会津若松 (只見線)→会津柳津

会津の冬 (26) 川井 1977年 木版



会津の冬 (71) 若松 1987年 木版

## イベントのご案内

○ギャラリーツアー: 「改めて、『会津の冬』の魅力に迫る!」 担当学芸員の解説を聞きながら、 新しい「会津の冬」の魅力を 見つけてはいかがでしょう。

★2018年12月 9日(日) 14:00~ ★2019年 1月12日(土) 14:00~

2月10日(日) 14:00~

至会津若松

[アクセス]





斎藤 清 Kivoshi Saito

1907年(明治40年)福島県会津に生まれる。

安井曽太郎氏の木版画作品に触発され、木版画制作へ傾倒。

.....

1951年、サンパウロビエンナーレ展に出品された〈凝視(花)〉が在サンパウロ日本人賞を受賞。 戦後日本人として初の国際展での受賞となり、

日本の現代版画の素晴らしさと斎藤清の名を世界中に広めることとなった。 以後、国内外で数多くの栄誉に輝き、1995年、文化功労者に顕彰される。 1997年、永眠。享年 90 歳。

